

外部被ばくによる実効線量

日時 = 2011/03/12 03:00 - 2011/03/12 06:00 の積算値
 気象データ = GPVのみ

福島第1 1号炉 狭域図
 核種名 = 全核種
 対象年齢 = 成人

放出地点 : 141°02'08" - 37°25'18"
 領域 : 23km × 23km

【凡例】
 実効線量等値線 (mSv)

- 1 = 1.00×10^{-1} ———
- 2 = 5.00×10^{-2} - - - - -
- 3 = 1.00×10^{-2} - · - · -
- 4 = 5.00×10^{-3} - · - · -
- 5 = 1.00×10^{-3} - · - · -

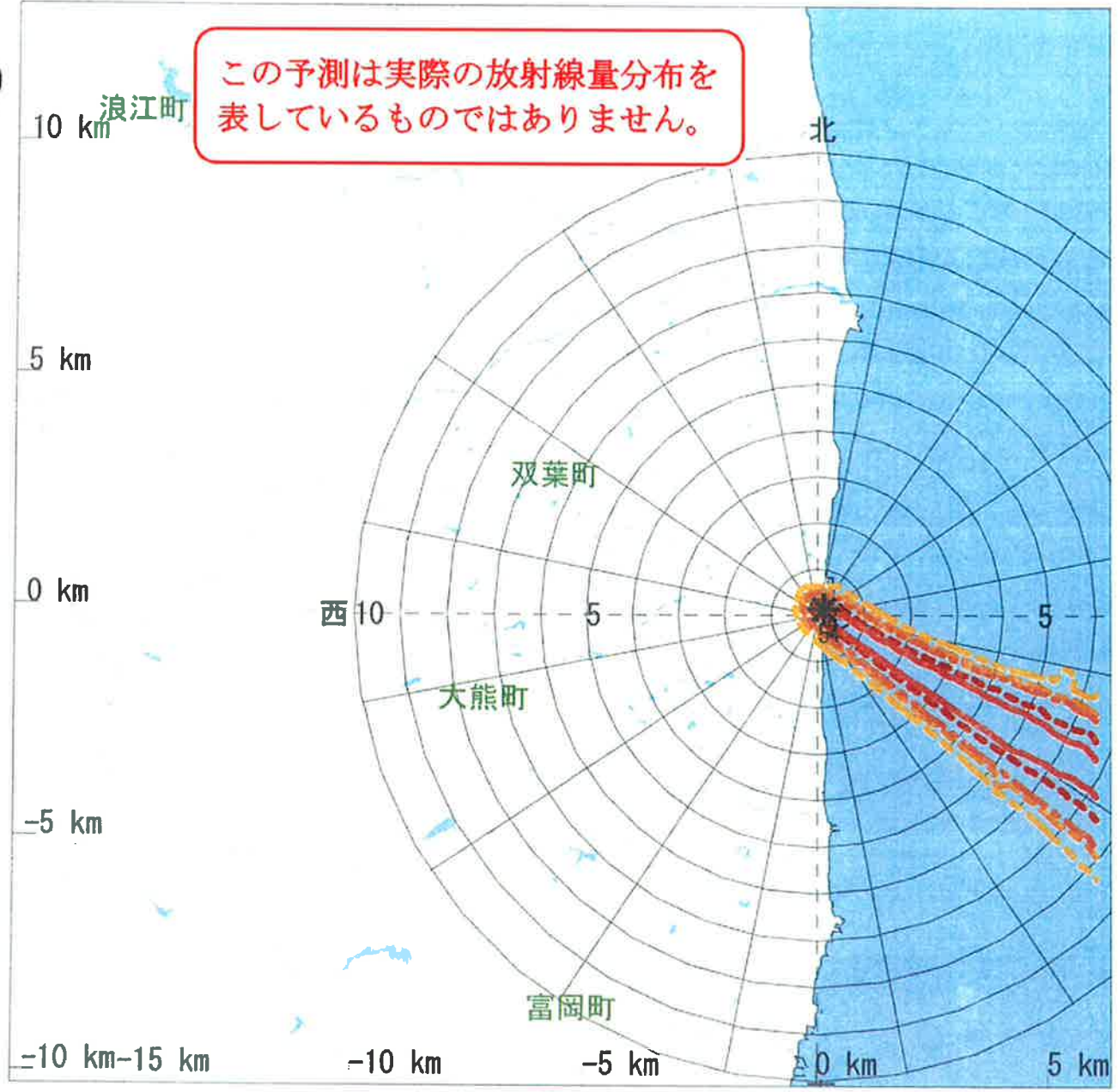
最大線量 = 2.47×10^{-1} mSv
 放出地点から (0.2, -0.1) km (*印)

計算モデル名 = PRWDA21
 使用モデル名 = 通常モデル

【計算条件】
 計算メッシュ幅 水平方向 = 0.25 km
 放出高 = 120.0m
 燃焼度 = 20000 MWD/MTU
 原子炉停止時刻 = 2011/03/11 14:47
 放出開始時刻 = 2011/03/12 03:30
 放出モード = 変動【換】
 放出核種・放出率(積算) : Bq/h (Bq)
 希ガス : 1.20×10^{16} (1.20×10^{16})
 ヨウ素 : 3.90×10^{14} (3.90×10^{14})

③

この予測は実際の放射線量分布を表しているものではありません。



ベント仮想事故 1号機

No. : 006687

2012年8月27日参議院東日本震災復興特別委員会配布資料
 国民の生活が第一 (原子安全・保安院HPより)

大気中濃度 (ヨウ素) (地上高)

日時 = 2011/03/12 16:00 - 2011/03/12 17:00

気象データ = GPVのみ

福島第1 1号炉 狭域図

放出地点 : 141°02'08" - 37°25'18"

領域 : 23km × 23km

表示高度 = 1.00 m

【凡例】


大気中濃度等値線 (Bq/m³)

1 = 1×10^{-10} 

2 = 5×10^{-11} 

3 = 1×10^{-11} 

4 = 5×10^{-12} 

5 = 1×10^{-12} 

計算モデル名 = PRWDA21

使用モデル名 = 通常モデル

【計算条件】

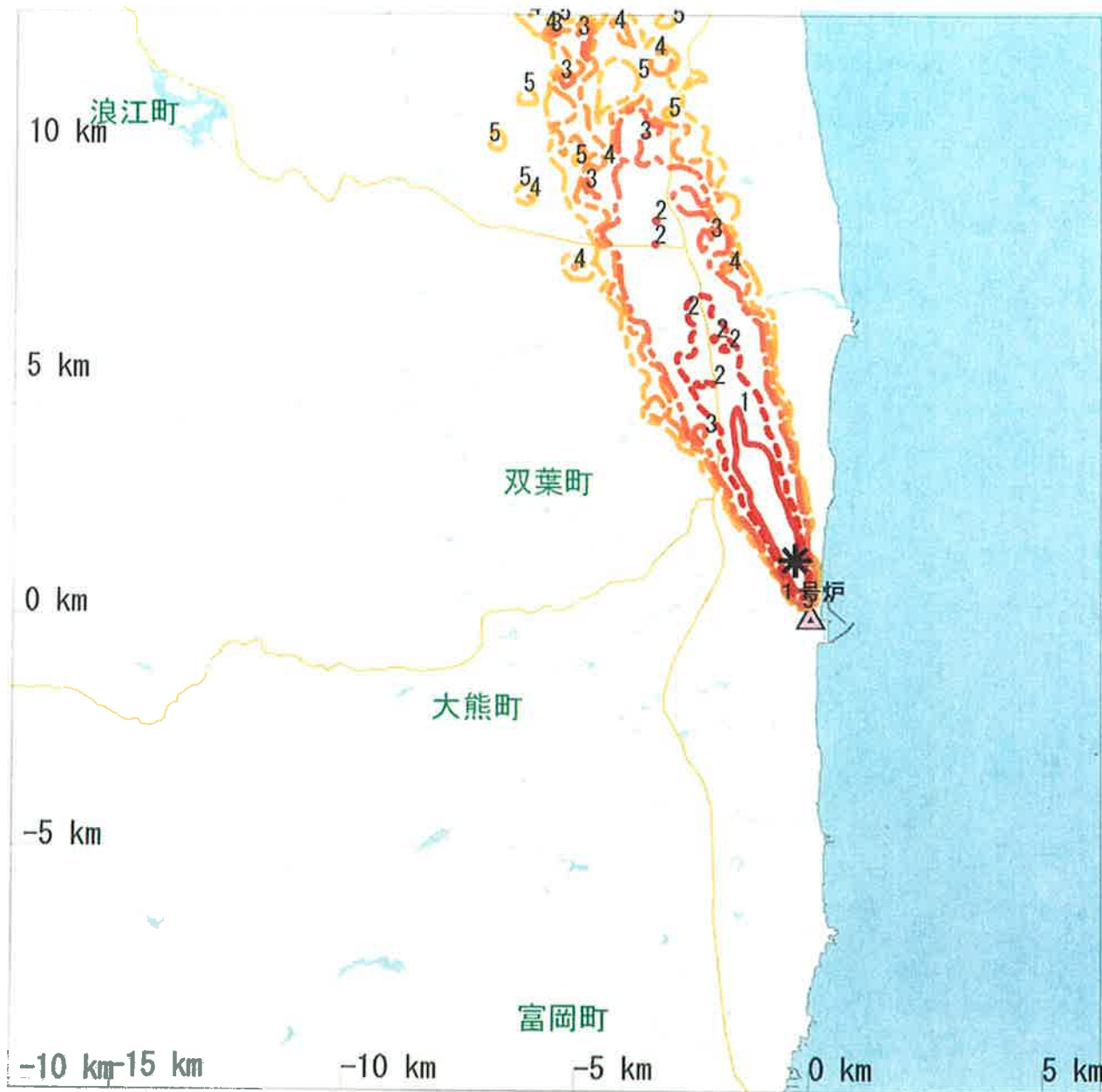
計算メッシュ幅 水平方向 = 0.25 km

放出高 = 120.0m

放出開始時刻 = 2011/03/12 16:00

放出モード = 単位量放出

(4)



この予測は実際の放射線量分布を表しているものではありません。

16時定時計算M

2012年8月27日参議院東北大震災復興特別委員会配布資料
 国民の生活が第一 (はたもとこ <文部科学省HPより(はたもとこ事務所作成)>)